

6月はふれあい・いじめ防止月間として、人権標語の作成や友達のいいところを見つけるなど、いじめや暴力をなくす取組を行ってきました。相手のことを考え、こうすればよかったと思うことを少なくできるように、今後も子どもたちの様子や声を注意深く見守りながら、学校全体で声をかけていきます。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「思いやりの気持ちをもとう」

思

この字は思うという漢字です。今日から六小ではいじめや暴力をなくす取組を行います。自分が大切であるように、どの人も大切にして、思いやりの気持ちをもってほしいのです。どんな理由があってもいじめを行ってははいけません。それだけ、いじめを受けた人は心に大きな傷を残してしまうのです。

いじめの中で一番多いのは、冷やかしかからかいなどの言葉によるいじめです。次に、「軽くぶつかわれたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」「仲間はずれや無視をされる」の順になっています。軽い気持ちで言ったりやったりしたことも、された人にとっては、とてもつらく悲しいことです。自分がされてうれしいことや言われてうれしいことを相手にもするようにしましょう。

現在の福島県、江戸時代の会津藩では、子どもたちが10人くらいのグループをつくり、年上の人から「什の掟」という心構えを教わって、守るように努力したそうです。掟の中には、「虚言（うそ）を言うことはなりませぬ」、「ひきょうなふるまいをしてはなりませぬ」、「弱い者をいぢめてはなりませぬ」があり、最後に「ならぬことはならぬものです」と子供たち同士で戒め合いました。世の中には人として絶対にやってはいけないことがあります。皆さんも、このことを心に留めて、思いやりの気持ちをもって毎日を過ごしてほしいと思います。

- 1 私が書いた人権標語は、「言葉はね、すごい力を持っている」です。いじめは、暴力がなくても言葉だけで人はきずつきます。学校でも、一言言っただけで、泣いてしまった子がいました。一言だけでも泣いてしまうから、私は「人を思う」ということを気かけます。
- 2 今日は、「思」という漢字です。いじめで多いことは、言葉で人をきずつけるということが分かりました。それをなくすためには、「思いやり」が必要だと分かりました。自分が嫌なことは友達にしないように、意識が必要だなと思いました。
- 3 福島県では昔、人として〇〇してはならぬ、というきまりがありました。校長先生が話していた「思」という字の思いやりという意味を、これからは人に言われて行うのではなく、自分から行いたいと思いました。
- 4 相手のことを思った行動をすればいじめはなくなると思うけど、みんなが心がけないと意味がないと思った。これからも、いじめのない六小を続けたい。
- 5 校長先生は、「いじめは一生心に残るきず」と言っていた。自分も4年のとき、よく人をからかって怒られていた。いじめは一人で抱えないで、他人に助けを求めた方がいい。ただ、それには勇気がいる。いじめは、完全にはなくならないが、少しずつやめさせるのがいじめをなくすのにつながるかもしれない。
- 6 いろいろな人権標語があって考えたことは、本当に本当にいじめはダメなんだな、と深く思いました。見かけたら自分では言えないから、先生に言って、ちゃんと見て見ぬふりをしないように意識をして、誰かが助けを求めていたら、絶対助けたいです。
- 7 人権標語はいじめをなくすためにあるものだから、人のことを思いやっっていかなければいけないということ。「いじめとは、自分が悪気がなくやっちゃって、そのやられた人がいやだなと思ったらいじめ」ということを聞いて、自分もこのことなどを広めていきたいです。
- 8 どんな理由があっても「いじめ」というのは、本当にいけないことだと改めて思いました。いじめじゃなくても、代表委員が言っていたとおり、自分でいけないと思ったことはやらないようにしようと思いました。
- 9 いじめは何があってもしてはいけない。そのことを先生たちから聞いて、いじめている人は胸が痛くないのだろうか。いじめられている人は、なぜ助けを求めないのか。今日の朝会でどちらも心に響いただろう。
- 10 みんないじめはしてはいけないと分かっているかもしれないけど、それでもいじめを人にする人はするから、そういう自覚がもてるようになりたいです。今まで誰かをいじめたことはないけど、これからも気を付けていきたいです。
- 11 いじめは「ひやかし」と「からかい」から始まるもの。自分がいやだと思うことはやらない。自分がいいと思うことはやっていい。人の気持ちになって考えること。
- 12 先生がいじめの話を知っていたら、いじめをしている人がとても情けないと思いました。もし、いじめている人がいたら、絶対に止めます。